

伝統に触れて迎える新春

弓削田小5年生がしめ縄作りを体験



12月14日、弓削田小学校の5年生73人がしめ縄作りを体験しました。これは、田植えから始まる総合的な学習で行われているもの。この日は、奈良さくらクラブのみなさんらの指導で、藁をねじって輪にするしめ縄を作成しました。川久保風馬さんは「ねじるときに力加減が難しかった。家に持って帰って飾りたい」とにっこり。

田川の魅力をラジオに乗せて

KBC「ふるさとWish」



福岡県内の60市町村をはじめ、KBCの放送エリアの魅力をテレビとラジオで伝える「ふるさとWish」。本市の放送期間中には、お笑いタレントのギター侍・波田陽区さんが市役所を訪れ、ラジオの生放送を行いました。生放送では、波田さんと市長の軽快なトークとともに、本市のグルメや特産品などが紹介されました。

旧産炭地の健康課題解決を目指す

健康なまちづくりに向け5市町連携



12月23日、田川市・飯塚市・嘉麻市・桂川町・川崎町の3市2町が「健康なまちづくりのための事業連携協定」を締結しました。この協定は、健康で生きがいを持ち、安全安心で豊かな生活を営むことのできるまちづくりに向け、自治体の垣根を越えて連携を行うためのもの。今回「健康に関心のある人だけでなく、誰もが参加し、生活習慣病予防や寝たきり予防を可能とするまちづくりを目指す」というスマートウェルネスシティの考えに賛同する近隣自治体5市町が協定を結ぶこととなりました。今後は、健康関連イベントの合同開催や、各自治体の健康イベントの共有・相互に参加できる仕組みづくりのほか、それぞれが持っている健康づくりに関する調査や研究情報の有効活用を連携して行います。

二場公人市長は「旧産炭地である筑豊は、健康問題に関して同じような課題を抱えている。まずは私たちが先陣を切り、課題解決に向けて尽力したい」と語りました。

「水道水 安全・安心 これからも」 水道週間の標語で最高賞



第64回水道週間協賛懸賞募集の標語の部に応募した星野鼓太郎さん（伊田小6年）の標語が最高賞である特選を受賞。市役所で市長が報告を受け、表彰状と記念品を授与しました。

昨年に引き続き好成績 フットサルフェスタ全国大会で3位



市内で活動しているフットサルチーム「I.P」が、九州予選を制してフットサルフェスタ2022全国大会のオープンカテゴリーに出場。見事3位入賞の成績を収めたことを市長に報告しました。

球体と曲線美が高評価 田川科学技術高校生徒が快挙



田川科学技術高等学校1年生の廣田鈴奈さんと藤川絢未さんが市長を表敬訪問し、2人の木工作品「花火」が全国高等学校総合文化祭美術・工芸部門へ推薦されたことを報告しました。

YELL
「輝くあなたを応援」
さまざまな分野で活躍する人たちの功績などを、市長への表敬の様子とともに紹介します。